

演題名

若年者のマイボーム腺形態が涙液パラメータに与える影響

英文タイトル

Relationship between morphological changes of meibomian glands and tear film-related parameters in adolescence

溝口尚則 1, 2, 福岡詩麻 2,3, 森重直行 2, 4, 有田玲子 2,5

1. 溝口眼科, 2. LIME 研究会, 3.大宮はまだ眼科, 4.大島眼科病院, 5.伊藤医院

【目的】若年者のマイボーム腺の形態に変化がみられる事が明らかとなっている。今回、若年者のマイボーム腺形態変化が涙液パラメータに影響するかどうかを検討した。

【方法】中学校3年生(15歳)110例 110眼(男性56例, 女性54例)を対象とした。マイボグラフィ所見をもとに、脱落または短縮の有無を判定し、脱落有群(36例)・無群(74例)または短縮有群(106例)・無群(4例)にわけ、涙液パラメータを比較検討した。

【結果】

短縮有群の BUT は無群と比較して有意に短縮 (8.3 ± 7.1 、 15.3 ± 6.5 秒 $p=0.02$)、LLT は有意に菲薄化 (67.6 ± 22.4 、 97.0 ± 28.6 nm、 $p=0.03$) していた。脱落の有無を上下眼瞼別に検討すると、下眼瞼脱落有群は下眼瞼脱落無群よりも BUT が有意に短縮していた (6.7 ± 5.4 、 9.1 ± 7.6 秒、 $p=0.04$)。上下眼瞼別の短縮の有無では、上・下短縮有群の LLT (65.0 ± 20.3 、 67.6 ± 22.7 nm) は上・下短縮無群 (81.4 ± 27.8 , 85.1 ± 25.3 nm) と比較して、有意に LLT が菲薄化していた ($p=0.0081$, 0.047)。下眼瞼短縮有群の方がフルオスコアが高く (1.2 ± 1.4 、 0.0 ± 0.0 、 $p=0.0091$)、BUT は短縮し (8.3 ± 7.2 、 12.0 ± 6.5 、 $p=0.043$)、マイバムグレードは高値 (1.9 ± 1.2 、 0.7 ± 0.8 、 $p=0.012$) だった。

【結論】中学生におけるマイボーム腺の形態変化は短縮の頻度が高く、下眼瞼に高頻度にみられた。下眼瞼の変化は油層関連涙液パラメータに影響することが示唆された。